

2024年度 就実大学・就実短期大学 学生募集要項の変更点

(注意：2023年度版を基に作成(ページは2023年度版学生募集要項のページ))

大学

●アドミッション・ポリシー 教育学部・経営学部

(1) 教育学部、経営学部のアドミッション・ポリシーを一部修正(2023年度学生募集要項に掲載内容の一部誤りがあることが判明したこと、入試区分の見直しによる修正) P.17-19 参照

・修正点(赤字の部分)

教育学部のアドミッション・ポリシー (求める人材)

<求める学生像>

教育学部は、乳幼児保育、幼児教育、小学校教育、特別支援教育、心理支援、心理学、養護に関心があり、それらの専門的知識を社会に活かす意欲と目的意識のある人を求める。

初等教育学科

<求める学生像>

初等教育学科の目的は、乳幼児保育、**幼児教育**、小学校教育、特別支援教育を担う人材の育成である。よって、本学科では、共生社会の形成に向けて、**子どもとのふれあいや教養育**てることに喜びを見いだすことができる人を求める。

<入学者に求める知識・技能・能力・態度>

入学者には、本学科の教育に必要な以下の基礎的資質・能力を有していることを求める。

- ・**保育・教育の現場における様々な課題や特別支援教育に関心があり、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、特別支援学校教諭を目指す意欲の強い人**
- ・**自ら課題を発見し、主体的・協働的に問題解決にあたり、学びを深めることができる人**
- ・伝えたいことを、根拠を示しながら筋道を立てて表現できる人
- ・入学後の修学に必要な基礎学力(主に国語と外国語)を有している人

<入試方法についての方針>

学部教育に必要な基礎的資質・能力を多面的に審査するため、審査配分の異なる以下の選抜方法によって入学者の選抜を行う。

(①, ②は省略)

- ③ 学校推薦選抜(面接併用タイプ-基礎学力型) ※基礎学力を重視

適性検査では、入学後の学修に必要な基礎学力を審査する。書類審査(調査書)及び面接は①と同様。

- ④ 学校推薦選抜(面接併用タイプ-小論文型) ※文章表現能力及び論理的思考力を重視

小論文では、適切に文章を構成したり、適切に言葉で表現したりする力を審査する。書類審査(調査書)、面接は、①と同様。

(以下、省略)

教育心理学科

<求める学生像>

教育心理学科の目的は、人の心身の発達・健康を支えケアする心理師(士)・養護教諭、および心理学のスキルをもって社会に貢献できる職業人の育成である。よって、本学科では、人と関わることが好きで、心身の発達・健康を支えケアすることや社会に貢献することに喜びを見いだすことができる人を求める。

(以下、省略)

経営学部のアドミッション・ポリシー（求める人材）

（入試方法についての方針以外は省略）

<入試方法についての方針>

（①～④は省略）

- ⑤学校推薦選抜（面接なしタイプ・基礎学力型）では、基礎学力を重視します。書類審査により、思考力・判断力・表現力および主体的に学習に取り組む態度・協調性を判断します。
- ⑥一般選抜では、国語と英語で基礎学力および思考力・判断力・表現力を計ります。
- ⑦共通テスト利用選抜では、英語を中心に基礎学力および思考力・判断力・表現力を計り、共通テスト利用選抜Cでは調査書で主体的に学習に取り組む態度・協働性を判断します。

●就実大学特待生制度

（1）一般選抜で両日とも成績上位者となった場合の選考ルールを追加する（これまで明確なルールがなかったことによる） P.21 参照

・追加するルール（赤字の部分）

（主旨、1.は省略）

2. 特待生の種類と候補者数及び免除額

人文科学部・教育学部・経営学部特待生

4年間の授業料のうち年額 285,000 円免除（A特待生）

一般選抜の合格者のうち成績上位者*1

*1 成績が同点の場合は必須科目の得点が高い方を上位とする。なお、必須科目の得点でも差がつかない場合は、調査書の内容を総合的に評価して順位付けを行う（下記人数枠を超えることはない）。また、両日で重複して成績上位者となる合格者がいる場合でも繰り上げは行わない。

人文科学部	表現文化学科	5名※
	実践英語学科	5名※
	総合歴史学科	5名※
教育学部	初等教育学科	5名（A日程3名、B日程2名）
	教育心理学科	5名（A日程3名、B日程2名）
経営学部	経営学科	10名（A日程5名、B日程5名）

※日程ごとの人数は、志願者数で按分する

（以下、省略）

●総合型選抜（自己アピール型）（専願制） 人文科学部・教育学部

（1）出願資格の記載内容を一部修正（分かりやすい表記に変更） P.23 参照

・修正点（赤字及び網掛け部分）

出 願 資 格

次の条件(1)(2)(3)(4)(5)のいずれにも該当する者

（（1）～（3）は省略）

（4）高等学校または中等教育学校後期課程在学中に、以下のいずれかに該当する者

- ①部活動、生徒会等の校内活動を継続的に行い自己を推薦できる者 ※活動期間等を明記すること
- ②学校行事外のボランティア活動、校外での体育・文化活動、留学等の経験をもとに自己を推薦できる者
※活動期間等を明記すること
- ③具体的な課題について研究を行った者（「総合的な学習（探究）の時間」に取り組んだ課題を発展させたもの

も含む)

※課題・テーマを選んだ理由・概要・成果及び費やした期間を記載すること

④資格や技術を有する者(資格・検定・試験は出願までに取得又は合格しているものに限る)

※資格・検定・試験の名称及び級・スコア、取得年月日を記載すること

※出願資格を証明する書類の写しがない場合や、詳細についてはオープンキャンパスで相談すること

(5) 本学主催の入学前セミナーに出席できる者

併せて、受験生が本学のホームページからダウンロードする「就実大学 総合型選抜 (自己アピール型) 出願資格を証明する書類」の記載内容を修正 (別紙1参照)

●総合型選抜, 学校推薦選抜, 併設校選抜, 指定校推薦選抜 人文科学部 実践英語学科

(1) 選考方法に英語による面接を行うことを追記する (実態に合わせて変更) P.23~P.28 参照

・修正点(赤字の部分)

該当する入試区分の「募集人員及び選考方法」をそれぞれ次のように修正する

面接 (実践英語学科は英語による面接を含む)

なお、併設校選抜は「申し合わせ」、指定校推薦選抜は「推薦要項」に記載の選考方法の該当部分を上記と同様に修正する。

●学校推薦選抜 (面接なしタイプ・基礎学力型)

(1) 2024 年度入試から経営学部でも学校推薦選抜 (面接なしタイプ・基礎学力型) を実施する (2023 年度入試実績を考慮して変更) P.23~P.28 参照

・修正点(赤字の部分)

学校推薦選抜(面接なしタイプ・基礎学力型)

学部	学科	募集人員	選考方法	試験時間
教育学部	教育心理学科	10名	適性検査 100 点(解答はマーク方式)と調査書 25 点で合否を判定 ※面接は実施しない	10:00~11:10
経営学部	経営学科	10名	適性検査 100 点(解答はマーク方式)と調査書 20 点で合否を判定 ※面接は実施しない	適性検査
薬学部	薬学科	24名	適性検査 200 点(解答はマーク方式)と調査書 50 点の合計点で合否を判定 ※面接は実施しない	10:00~11:10 適性検査

●入試区分別募集人員

(1) 人文科学部と経営学部の一部入試区分で募集人員を変更 (2023 年度入試実績等を踏まえた変更) P.8 参照

・修正点(赤字の部分)

就実大学

学部・学科	定員	総合型選抜			学校推薦選抜 (面接併用タイプ)		学校推薦選抜 (面接なしタイプ)	一般選抜	共通テスト 利用選抜 A	共通テスト 利用選抜 B	共通テスト 利用選抜 C	
		自己 アピール型	資格 検定型	基礎 学力型	基礎 学力型	小論文型	基礎 学力型					
人文科学部	表現文化学科	80	3	9	26	3		30	5	2	2	
	実践英語学科	75	2	9	25	3		27	5	2	2	
	総合歴史学科	80	3	9	26	3		30	5	2	2	
教育学部	初等教育学科	75	3	10	25	4		25	3	3	2	
	教育心理学科	62	4	7	10	3	10	22	2	2	2	
経営学部	経営学科	160		23	12	37	5	10	64	3	3	3
薬学部	薬学科	100			13	3	24	47	7	3	3	

●共通テスト利用選抜 A

(1) 2024 年度入試から共通テスト利用選抜 A で薬学部の選考方法に「調査書 (参考程度)」を追記する
P.30 参照

・修正点(赤字の部分+青字の部分)

選考方法

選考のポイントについては、各学部・学科のアドミッション・ポリシー(求める人材) <入試方法についての方針> (P 14-20参照)で確認すること。

学部	選考方法
人文科学部・教育学部・経営学部	指定された教科・科目の中から大学入学共通テストの高得点科目を本学が選択し可否を判定
薬学部	指定された教科・科目の中から大学入学共通テストの高得点科目を本学が選択し可否を判定 ※調査書(参考程度)

※調査書を提出できない場合(高卒認定試験合格者、卒業後5年以上経過者)は別の書類(書式は任意)とする(P45参照)。

●共通テスト利用選抜 A・B・C

(1) 共通テスト利用選抜 A・B・C の『外国語』『英語』の配点が変わるよう表記を修正 P.12-13 参照

・共通テスト利用選抜の概要の表記を『外国語』『英語』の配点が変わるよう修正する(共通テスト利用選抜 A・B・C)。(別紙2参照)

短期大学

●総合型選抜 (AO)

(1) 面談実施日に5月末の日程を追加する P.36 参照

・修正点(赤字の部分)

出願までの流れ

幼児教育学科 ①は Web でも可能。ホームページを参照のこと。

2023 年度

①面談 6月19日, 7月16日, 17日, 8月20日・21日のオープンキャンパスまたは9月10日(土)の説明会に参加し, 学科説明会・総合型選抜(AO)説明会参加後に面談。その際に面接日時を決定。エントリーシート配付。

↓

2024 年度

幼児教育学科 ①は Web でも可能。ホームページを参照のこと。

①面談 6月18日, 7月15日, 16日, 8月19日・20日のオープンキャンパスまたは5月27日(土), 9月9日(土)の説明会に参加し, 学科説明会・総合型選抜(AO)説明会参加後に面談。その際に面接日時を決定。エントリーシート配付。

生活実践科学科も上記と同様に修正する

(2) 面談日の一部を変更する P.36 参照

幼児教育学科

2023 年度

②面接日 8月6日(土), 8月27日(土), 9月24日(土)

↓

2024 年度

②面接日 6月18日(日), 8月5日(土), 9月23日(土)

生活実践科学科

2023 年度

②面接日 8月6日(土), 8月27日(土), 9月24日(土)

↓

2024 年度

②面接日 6月18日(日), 8月5日(土), 8月26日(土), 9月23日(土)

●学校推薦選抜

(1) 生活実践科学科が小論文型をプレゼン型へ変更 (2023 年度入試実績等を踏まえた変更) P.38 参照

・修正点(赤字の部分)

学校推薦選抜(小論文型)

学科	募集人員	選考方法	試験時間
幼児教育学科	2名	小論文(800字程度)50点と面接50点及び調査書50点の合計点で合否を判定	13:00~14:00 小論文 14:30~ 個人面接
生活実践科学科	2名		※サテライト試験会場においては、小論文試験終了後14時15分からすべてオンラインで面接を行う。

学校推薦選抜(プレゼン型)

学科	募集人員	選考方法	試験時間
生活実践科学科	2名	面接(課題レポートに基づくプレゼンテーション*を含む)100点及び調査書50点の合計点で合否を判定	13:00~ 個人面接(課題レポートに基づくプレゼンテーションを含む) ※サテライト試験会場においては、オンラインで面接(課題レポートに基づくプレゼンテーションを含む)を行う。

*面接は、出願書類と一緒に提出する課題レポート(800字以内)に基づくプレゼンテーションを含む。

学校推薦選抜(基礎学力型)出題範囲

学部	適性検査 出題範囲
全学科	「国語総合」(近代以降の文章)

学校推薦選抜(プレゼン型) 課題レポートのテーマ

学部	課題レポートのテーマ
生活実践科学科	「高校生活で得たもの」

◎学校推薦選抜(プレゼン型)への変更に伴うアドミッション・ポリシーの修正については別途教授会に諮る予定。

●入試区分別募集人員

(1) 学校推薦選抜で生活実践科学科が小論文型をプレゼン型へ変更することにより一部修正（2023年度入試実績等を踏まえた変更） P.8 参照

・修正点(赤字の部分)

就実短期大学

学 科	定 員	総合型選抜		学校推薦選抜			一般選抜	共通テスト 利用選抜 A	共通テスト 利用選抜 B	共通テスト 利用選抜 C
		AO	基礎学力型	基礎学力型	小論文型	プレゼン型				
幼児教育学科	100	35	12	35	2		10	2	2	2
生活実践科学科	80	27	10	25		2	10	2	2	2

●共通事項

(1) 入学試験における感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等）への対応についての記載内容を一部修正（これまで想定できていなかったケースにも対応できるよう変更） P.43 参照

・修正点(赤字の部分)

- I. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、はしか等)にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生に拡がるおそれがあるため受験を認めない。
- II. 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、はしか等)にかかり、治癒していないことを理由として本学入学試験を欠席する場合は、申請により当該入学試験(欠席日分)にかかる入学検定料を返還する。また、試験当日に風邪症状があることを理由に本学が欠席とすることを要請した場合は、PCR等の検査結果が陰性でも入学検定料は返還する。なお、併願受験により入学検定料が割引されている場合は、支払われた入学検定料と受験した分との差額を返還する。

〈入学検定料返還の申請方法〉

1. 欠席する入学試験実施日当日の9:00～16:00の間に、電話にて入試課へ連絡する。
注:受付期間内に連絡することなく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱い、入学検定料の返還はしない。
2. 下記の申請書類を提出する。
 - ①入学検定料返還申請書(本学 Web サイトより「入学検定料の返還請求」の様式をダウンロード)
 - ②診断書(病名(学校保健安全法で出席停止が定められている感染症名)と加療期間(欠席した入学試験日を含む)が明記されたもの)

※試験当日に風邪症状があることを理由に本学が欠席とすることを要請した場合に限り、診断書の提出は不要。